

## 第Ⅱ期第1回斜面工学研究小委員会議事録(案)

日時：平成17年8月5日(金) 13:30～18:00

場所：土木学会 講堂

出席者：後藤委員長、稲垣副委員長、釜井、佐々木(寧)、中野、島村、上野(将)山川、太田、小島、青木、大石、築瀬、天野、谷川、伊藤、野田、平田、佐々木靖、中濃、菊池、西川、鈴木、中村、宮崎、櫻井の各委員、大野幹事

## 1. 委員長挨拶

後藤委員長から開会の挨拶があった。

## 2. 委員の自己紹介、名簿の確認

出席委員各人の自己紹介と資料1-2の名簿の修正箇所の回覧が行われた。

## 3. 話題提供

以下の2つの話題提供がなされた。

## 1) 長谷川委員(香川大学)

話題題目：「四国における斜面災害の取り組み」

資料1-9-1. 「四国における斜面災害の取り組み」PPT資料

資料1-9-2. 平成16年四国地域豪雨・高潮災害調査団の活動報告

資料1-9-3. 四国の斜面研究

## 2) 後藤委員長(山梨大学)

話題題目：「土木学会重点研究(新潟県中越地震のモニタリング研究)」

HP (<http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/slope/index.html>)を参照のこと。

## 4. 委員会設立趣旨と第1期委員会活動の概略

委員長がHP ([http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/slope/index\\_1.html](http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/slope/index_1.html))等を用いて説明

## 5. 委員会の活動方針、成果物、運営方針、WG活動、予算等についての審議

資料1-3の説明を委員長が行い、新しい委員の研究活動や興味について伺った。

第2期の活動として、以下のような議論がなされたが、特にWG活動や成果については第2回委員会でも引き続き審議することとなった。

<第2期委員会の活動方針等決定事項>

## ① 運営方法

・ 全体委員会：46名の委員構成であり、2～3ヶ月に1回の実施とする。

・ 全体委員会の進行：基本的に以下のような時間配分とする。

1時間：話題提供、2時間：WG打ち合わせ、1時間：全体の報告と審議

- 3A
- ・ 予算管理、旅費の支給基準（今年度は34万円）は第1期と同じく、話題提供者に交通費等を支給する。
  - ・ 災害対応：資料1-7の「災害調査ガイドライン」にのっとり、各委員が委員長へ働きかけることで委員会として対応する。
  - ・ 全国大会の研究討論会：恐らく来年度回ってくるので、「中越地震」重点研究成果について発表する。

#### <第2期委員会の活動方針等継続審議事項>

以下の点について、各種の意見が述べられたが今後も継続審議となった。

##### ① WG活動

- ・ 遠方の委員が参加しやすい環境をつくっていくことが必要であり、この目的も兼ねて、「事例研究WG」を、長谷川委員などを中心として設けてはどうか。⇒地方と委員会本部がうまく連携する方法もこの他に考えられるのではないかと事例研究WGを設けるか？
- ・ 第1期で作成した一般書を用いた啓蒙活動などが必要であり、“研修コース”のようなものをHPで公開し、各地の委員が応募してきた機関に対応する、といったようなことも考えられる。⇒一般書の啓蒙WGが必要か？
- ・ 第1期の4つのWG(災害、維持管理、環境・生態系、景観・計画)を3つのWGに統廃合し、現地視察なども行ってはどうか(第1期では、災害と維持管理WGが現地視察を行った経緯がある)⇒4つのWGをどうするか？その活性化は？

##### ② 委員会成果

いくつかの委員長提示案のうち、以下の点に絞られた。

- ・ 21世紀の斜面工学の教科書⇒「べからず集」の作成？テキスト「斜面と暮らす学(案)」を作成する？
- ・ 出前授業の実施：一般書を用いた啓蒙との関連
- ・ 辞典の作成⇒辞典は作成に多大な労力がかかり、3年間では終わらないのでは？
- ・ 提言の作成⇒予防と軽減の考え方が確立されていない。こうしたことは民間や官庁は出しにくい、学会としては出しやすい。しかし、こういった方向にするのか、実際に提言が作れるのかについては今後も議論する必要がある。

#### 6. 一般書「知っておきたい斜面のはなし Q&A ー斜面と暮らすー」

資料1-4をもとに、第1期委員会の成果である一般書の説明を委員長が行う。

#### 7. 地盤工学委員会の報告（平成16年度第4回幹事会議事録、平成17年度第1回幹事会議題書）

委員長より、地盤工学委員会の報告がなされた。

#### 8. 災害調査ガイドライン

資料1-7についての説明を委員長が行う。

## 9. 国土交通省アンケート対応 (資料1-8)

国土交通省アンケートについて委員長より説明があった。

## 10. ペーパーレス化への協力依頼

委員会の紙資料が学会の予算を圧迫しているため、今後、紙資料は極力避ける。今回もその観点から、資料1-5、資料1-6、資料1-8は割愛した。今後ともペーパーレスで委員会を執り行うことを了承。

## 11. 今後の予定 (地盤工学委員会関連)

- ・全国大会研究討論会 「土構造物の性能設計評価化における課題」  
9月7日 14:50-16:20 研-06 7号館 112
- ・一般書の講習会 (未定)

## 12. その他

特に無し

## 13. 次回委員会

2005年10月21日(金) 13:30より開催する

## 配布資料

- 資料1-0. 第2期第1回委員会議事次第
- 資料1-1. 委員構成(2005年7月20日版の訂正)
- 資料1-2. 委員名簿及び出欠簿
- 資料1-3. 第2期活動方針案(たたき台)
- 資料1-4. 斜面工学研究小委員会第4回編集WG打ち合わせ議事録(案)
- 資料1-7. 災害調査ガイドライン(案)
- 資料1-9. 話題提供資料
  - 資料1-9-1. 「四国における斜面災害の取り組み」PPT資料
  - 資料1-9-2. 平成16年四国地域豪雨・高潮災害調査団の活動報告
  - 資料1-9-3. 四国の斜面研究